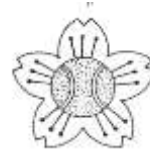


令和6年4月30日発行

横浜市立六浦小学校学校だより



むつうら



本校教育目標「つながるなかま まち いきいき 六浦っ子」

実体験こそ学びの原点

校長 内野 泰久

桜の季節も終わり、ツツジの花が町を彩る季節になりました。新年度も始まり一か月が過ぎようとしています。各学年、各学級ともとても順調な滑り出しです。4月に入学した1年生もだいぶ学校生活に慣れて、元気よく楽しく活動しています。

先日、4組の授業を見る機会がありました。これから学級園に植えて育てる野菜の授業でした。学級園のどの場所にどの野菜を植えるのかの説明の後に、実際に種の入っている袋を開けて、中身を全部画用紙の上に広げました。子どもたちはどんな種がでてくるのか目を輝かせ興味津々の様子でした。野菜によっては思いのほか小さい種だったり、砂のようだったり予想したものとは異なる意外な種の形を見て目を丸くしていました。実際に近づいて観察するときも、よく見えるようにぎりぎりまで近づいたり、息で飛ばないように気を付けたりしながら工夫して慎重に観察していました。とても微笑ましい光景でした。そんな日常の学習の発見や体験の積み重ねが子どもたちの力になっていきます。きっと収穫の時期が近づくにつれて、育てていく野菜を観察しながら子どもたちが数多くの発見をすることでしょう。

種を袋から出す時の子どもたちの目の輝き、小さな種を飛ばさないように息を止めて観察する姿…。実際に見て、触れる学びの深さ、教育の原点を感じました。タブレット端末を使ってオンライン上で見つけた知識を活用することや、上手なインターネットとの付き合い方を学ぶこともこれからの時代とても大切です。しかし、それだけでは生きた知識や学びにはつながらないと考えています。これからも六浦小学校は実際に見て、触れる体験、地域の方々と直接関わる体験を通して子どもたちの心を育てていきます。